

愛西市巡回バス運行検討委員会会議録（概要）

会 議 名	平成 23 年度 第 3 回 愛西市巡回バス運行検討委員会
開 催 日 時	平成 23 年 12 月 22 日（木）午前 11 時 00 分から午前 11 時 40 分まで
開 催 場 所	愛西市佐屋公民館 3 階 第 2 会議室
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	渡辺千鶴子、太田邦雄
協 議 事 項 等	●協議事項 （1）ワーキンググループにおける検討結果の報告 （2）その他
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍 聴 人 の 数	2 人
会 議 資 料	次第
審 議 経 過	別紙のとおり

愛西市巡回バス運行検討委員会委員

役 職	氏 名	推 薦 母 体	備 考
委 員 長	前野 俊雄	高齢者代表	
委 員	加藤 英明	総代会	
〃	黒宮 光世	総代会	
〃	鷺野 正昭	総代会	
〃	八木 忠彦	総代会	
〃	横井 則子	女性代表	
〃	渡辺 千鶴子	女性代表	
〃	服部 愛子	女性代表	
〃	八木 香代子	女性代表	
〃	水野 壽里	市民代表	
〃	横井 照雄	市民代表	
〃	飯田 雅美	市民代表	
〃	畑 朝子	市民代表	
〃	吉田 高久	高齢者代表	
〃	山田 晋	高齢者代表	
〃	田中 充	高齢者代表	
〃	西村 幸雄	高齢者代表	
〃	大宮 國昭	高齢者代表	
〃	鈴木 實	高齢者代表	

職務のために出席した職員

役 職	氏 名	備 考
立田総合支所長	宇 佐 見 征 弘	
八開総合支所長	諏 訪 勝 三	
佐織総合支所長	八 木 正 巳	

事務局

氏 名	氏 名
石 原 光	猪 飼 明
奥 田 哲 弘	伊 藤 靖 幸

審議経過

発言者	内容（概要）
委員長	<p>あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長よりあいさつ <p>それでは、先ほどワーキンググループで検討していただいた内容について、みなさんで検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p>
総務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・総務部長よりあいさつ <p>早朝よりご出席いただきありがとうございます。</p> <p>バスの運行については難しい問題ではありますが、ワーキンググループの報告を受けまして、検討委員会で全体の意見をまとめていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
委員長	<p>1 ワーキンググループにおける検討結果の報告について</p> <p>それではまず、Aグループからお願いいたします。</p>
事務局	<p>Aグループですが、バスの有料化への移行と運行目的についてご協議いただきました。</p> <p>資料を基に有料化の条件となる車両変更やバス停設置、委託費用などを含め、現状の運行形態のまま有料化するとすると、見込まれるバス利用者の利用料金を差し引いても、現在の倍以上の経費がかかる計算になります。</p> <p>そういったことにより、グループ全体の意見として現時点の有料化は難しいということになりました。</p> <p>次に運行目的についてですが、いろいろ議論はありましたが、結論としては福祉にも重点をおいた公共交通バス（市民の足）として継続させるべきであるということになりました。</p>
委員長	<p>続いてBグループをお願いします。</p>
事務局	<p>Bグループでは、運行時間、ルート、運行台数、バス停、他市への乗り入れの5つの項目についての議論をいただきました。</p> <p>乗客数の少ない立田・八開ルートを廃止して別の交通手段を確保すべきなどの意見がありましたが、結論としては立田・八開ルートは廃止することにはなりませんでした。</p> <p>それでは、運行時間についてですが、乗客数を伸ばすためには、通勤・通学の方も利用してもらえるように朝早くから夜遅くまで運行させるという方法も考えられますが、現状では福祉目的の要素が強いため、通勤・通学の方については特に考慮せずに現状の時間帯のままでいいのではないかとということになりました。</p>

	<p>続いてルートについてですが、高齢化により車に乗れない人も増えてくる ことが予想されますので、現在利用者が少ないところについても現行のルー トを継続していくことになりました。また、その他の意見として地区別にこ だわることなく検討していくことも必要であるという意見もありました。</p> <p>運行台数については、台数が増えれば市民にとって利用しやすくなると思 いますが、費用のことを考慮すると現状の台数でいいのではないかという ことになりました。</p> <p>バス停については、基本的には各地域に一つは設置されています。位置に 問題があれば地元と協議して変更することになりますが、利用が少ないから といって減らすということとはしないことになりました。</p> <p>意見としては、市内の個人病院等を利用される方も多いことから、その付 近にバス停を設置してもよいのでは？という意見や、佐屋の一部の地区でバ ス停が無いところがあるのでそこについても検討したほうがよい、などがあ りました。</p> <p>他市への乗り入れについては、弥富市のこともあるが、特に津島駅と津島 市民病院への乗り入れ要望が多くあるため、特に津島市への乗り入れを中心 に検討したほうがよいということでした。</p>
委員長	<p>ただいま、Aグループ、Bグループの報告がありましたが、ワーキンググ ループで決定された方針について何かご意見等ございますか。</p>
委員長	<p>特に無いようなので、今回の報告事項を検討委員会の意見として決定い たします。</p>
委員長	<p>それでは、具体的な内容について、何かご意見ございますか。</p>
委員	<p>個人病院等付近へのバス停設置という話がありましたが、そのバス停が 地域の中心的なところである場合や大きい病院であればいいが、個人経営の 病院等の付近まで設置するのはよくないのではないか。</p>
委員	<p>現状のバス停をわざわざ病院付近までバス停を移動させる必要はないと思 う。</p>
委員	<p>現状の財政状況が厳しいのであれば、利用のほとんどないバスについては、 他の運行方法を検討すべきであると思うが。</p>
事務局	<p>平成 24 年度に住民の意向調査を実施する予定です。 今回については方向性を決めていただき、今後は調査結果を踏まえて具体</p>

	<p>的な解決策を検討していただきたいと思います。</p>
委員	<p>もう少し利用してもらえるよう、停留所やルートについて再度検討していく必要があると思います。</p>
委員	<p>福祉バスではなく、福祉に重点をおいた公共バスということを委員全員の共通認識としておいてほしい。</p> <p>2 その他</p> <p>特になし</p>
委員長	<p>それでは他に特に意見もないようなので、本日の検討委員会は終了したいと思います。長時間ありがとうございました。</p>